

## 日本技術士会千葉県支部 CPD 行事实施報告書

開始日時	平成25年10月19日(土)	13時50分
終了日時	平成25年10月19日(土)	15時30分
名称	第8回CPD研修会(科学技術講演会)	
主催者	公益社団法人日本技術士会 千葉県支部	
開催場所	千葉市ビジネス支援センターきぼーる 15階多目的室(千葉市中央区中央4-5-1)	
行事内容	科学技術講演会 ・挨拶 松井支部長 ・講演 ～～多用途・飛行ロボットの実現をめざして～～ 講演テーマ:「完全自律型マルチロータ式電動ヘリコプタ・ミニサーベイヤーの開発」 講師:野波 健蔵氏(工学博士) 千葉大副学長、産学連携・知的財産機構 機構長 ・質疑応答	
参加者数	31名(内1名は企業から参加)	

第8回CPD研修会(科学技術講演会)は千葉市科学フェスタサテライトイベントとして位置づけ多用途・飛行ロボットの研究開発に関して講演会を開催した。

千葉大学野波研究室で開発された自律制御技術を利用した電動ヘリコプタはいつでもどこでも誰でも使える飛行ロボットの誕生をめざして研究開発が進んでおり実利用について各分野の利用用途に合わせた実証検証を行い、更に新たな応用分野への開拓など目指している。

この種の飛翔体は世界的には開発されているが極めて高価で制御性能が不十分、安全性への配慮、電波法の関係、などで難点が多く純国産の機体開発がどうしても必要であった。

研究開発から実用化に向けた実証検証実験など動画を活用してわかりやすい説明とプレゼンテーションの提供があった。

今回の講演の最後にまとめとして次の事項について説明があった。

- ・ 大震災を教訓にした安全安心の都市づくり・町づくりに役立つ技術の一環である。
- ・ とくに、放射線量計測は緊急の課題であり、除染効果の検証と放射線量の強いエリアの特定及びマップ測定に活用できる。
- ・ ミニサーベイヤーコンソーシアムによるオールジャパン体制で世界のトップレベルの技術開発とビジネス展開を目指している。
- ・ 強い産学官連携によるグローバル競争の推進を進める。

大学の研究開発ではあるが実用化を目指し、機体の安全性はもとよりメンテナンスや小型化など地に足の着いた研究開発であるとの認識を深めた。さらに将来の応用分野についても広い視野をもって講師の夢のある眼差しで熱く語ったのが印象的であった

